

探究 ひとを想い
先駆する青年たれ

一般社団法人 和歌山青年会議所

www.wakayama-jc.net

新年のご挨拶



一般社団法人和歌山青年会議所
2019年度 第63代理事長
山路 由剛

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、一般社団法人和歌山青年会議所に格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は基本理念に「探究」という言葉を掲げ、自分たちが住み暮らす和歌山市の「明るい豊かな社会」の実現に向け、地域のリーダーとして「何ができるのか。」ではなく「何をしなければいけないのか。」を探究し、運動を起こしてまいります。また、スローガンは「ひとを想い先駆する青年たれ」とし、ひとを想い、まちの未来を想い描き活動してくれる同志を増やしていくという想いで運動を展開してまいります。そして、年齢や性別、国籍や環境など関係なく、全てのひとが他を思いやり、夢に向かって挑戦していけるまちへと変革していくことが私たちの目標であります。私たちはこの目標達成のため、また2020年に48年振りに開催される近畿地区大会を成功に収めるために全力で活動してまいりますので、何卒、よろしくお願いいたします。

結びになりますが、本年が皆様方にとって素晴らしい一年となることをご祈念申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援ご協力を心よりお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



公益社団法人日本青年会議所
2019年度 第68代会頭

山田 明彦



新年おめでとうございます。謹んでご挨拶を申し上げます。平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本年度、一般社団法人和歌山青年会議所が理事長山路由剛君のもと、基本理念として「探究」を掲げ、「ひとを想い先駆する青年たれ」のスローガンを合言葉に、明るい豊かな社会を実現するため、邁進されますこと、さらには活動地域における課題に対して、挑戦を続けるリーダーとして、持続的なインパクトを与える運動が展開されますことを、改めてご期待申し上げます。移り行く時代の中、新たな挑戦を掲げ、地域の課題解決に向けた政策を推し進められている貴青年会議所に、心から敬意を表するとともに万全の態勢でご支援させていただきます。

本年度は、平成という一つの時代が終わり、新しい時代が始まる大きな節目の年であります。日本が、そう遠くない未来に先進国と言えなくなる日が来るかもしれません。私たち青年は現実から目をそらすことなく、圧倒的な危機感を持って、今、行動していかなければならないと考えております。

本年、公益社団法人日本青年会議所では、『誰もが挑戦できる幸せな国日本の創造』を基本理念として掲げ、『共に心躍る未来へ「やりましょう!」』のスローガンのもと、SDGsを日本で一番に推進する団体となるべく、各地会員会議所の皆様と手を携え、誰一人取り残さない社会を実現する運動を展開して参ります。今後とも、変わらぬ本会へのご理解、ご協力をいただけますと幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなる発展と活動地域においてすばらしい成果を出されること、さらに先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年になれることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

危機感を持とう

心地の良い場所から共に飛び出そう

そして、変化を起こそう



新年のご挨拶



公益社団法人日本青年会議所
近畿地区協議会
2019年度 第68代会長
松田 晋

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人和歌山青年会議所の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、近畿地区協議会の運動に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、理事長山路由剛君の力強いリーダーシップのもと、「ひとを想い先駆する青年たれ」のスローガンを掲げられ、2019年度のJC運動の第一歩を踏み出し、幸せに満ち溢れた船出をされましたことに心からお祝い申し上げます。

2019年度の近畿地区協議会は「JOY to KINKI!～すべては近畿の幸せのために～」を基本理念に掲げ運動展開させていただきます。本年も日本JCに一番近い協議会として、様々な角度から皆様の運動を支援させていただき組織として、有意義にご活用いただけるよう運動を推進してまいります。近畿の各地域には、地域の未来を想い継承してきた歴史があり、その結果として、「今」このまちに幸せが存在しています。幸せを感じ挑戦を続けることで、共に未来を創造してまいります。

また、一般社団法人和歌山青年会議所様より近畿地区協議会に委員長石井勇気君をはじめ、多くの出向者をご輩出いただきましたことに改めて御礼申し上げます。出向いただいたメンバーが成長を遂げ、LOM・地域の未来を担う人材としてご活躍いただけると確信しております。近畿地区協議会に対しまして、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴青年会議所のさらなる発展と心踊る未来につながることを、そして会員並びにシニア会員の皆様のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げ、近畿地区協議会を代表いたしましてのご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
近畿地区和歌山ブロック協議会
2019年度 第50代会長
小椋 孝也

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人和歌山青年会議所の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は公益社団法人日本青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会の運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴青年会議所2019年度の運動が、理事長山路由剛君の掲げる基本理念「探究」、スローガン「ひとを想い先駆する青年たれ」のもと輝かしいスタートを迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

さて本年、和歌山ブロック協議会は「誰もが挑戦できる幸せな和歌山の創造」に向けて運動を展開させていただきます。貴青年会議所より当協議会に顧問水野孝彦君、副会長松下正典君、財政局長堀井卓君をはじめ、運動の起点となる多数の出向者をご輩出賜りましたことに感謝申し上げますとともに、公益社団法人日本青年会議所本会並びに近畿地区協議会における運動の推進、そして和歌山ブロック大会那賀大会をはじめとする和歌山ブロック協議会の各事業成功に向けて、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴青年会議所のますますのご発展と皆様のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

卒業式例会並びに懇親会

会員開発委員会 委員 加藤 真也

11月16日(金)にダイワロイネットホテル和歌山にて2018年度卒業式例会並びに懇親会を開催いたしました。和歌山青年会議所の運動を先頭に立って走りきってこられた18名の卒業生を笑顔で送り出したいという思いで委員会メンバーが一丸となり、卒業式の企画と運営を行わせていただきました。歩んできた歴史を振り返り挨拶をされる卒業生を見ていると、長い間真剣に取り組んでこられていた想いを改めて実感し、より一層現役メンバー一同が

青年会議所運動に精進する必要があると感じました。今回このような貴重な機会を与えていただき、18名の卒業生と同じ方向を向いて過ごせた時間は、今後の私たちにとって大きな財産になったと深く感謝しております。卒業されても、今までと変わらず現役メンバーに対して、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。今後はお体に気をつけ新たなステージで、ますますご活躍されますことを心より楽しみにしております。長い間本当にお疲れ様でした。



現役メンバーからの送辞 山路理事長予定者



感謝状授与 小畑専務理事



卒業生挨拶 森下理事長



卒業生から目録贈呈 辻本理事



卒業式前の様子



卒業生集合



卒業生代表挨拶 藤井副理事長



懇親会の様子 大内太郎君



懇親会の様子 楠本室長



懇親会の様子 野嶋利基君

卒業生から一言



且来 倫之

<入会年度>：2005年度

平成17年に入会し長く在籍させていただきました。私自身引っ込み思案な性格もあり、委員会や事業にあまり参加できなかったのですが、多くの方々に出会えたことにはとても感謝しています。ありがとうございました。



大内 太郎

<入会年度>：2013年度

2013年に入会して以来、本当にお世話になりました。JＣに入会してからいろいろな方と出会い、また、色々な経験をさせていただき、そのどれもが和歌山青年会議所だからこそできたことだと思います。自分自身の一生に残る財産だと思っています。出逢ってくださった、先輩、同期、後輩に感謝いたします。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。



金山 直樹

<入会年度>：2015年度

私は和歌山JＣに入会させていただき、沢山の学びを得ることができました。普段の自社の仕事だけでは体験できない経験をさせていただきました。そして何よりかけがえのない人達との出会いが沢山ありました。これらのことは今後の人生においての大きな財産となりました。短い間でしたが自分なりに全力で取り組んだこの数年は一生忘れることはないと思います。この学びと出会いを今後の人生において大切に、一人の経営者として精進していきます。今まで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。



北谷慎市郎

<入会年度>：2011年度

2011年に和歌山青年会議所に入会させていただきました。約8年間、沢山の出会いと経験をさせていただきました。JＣ活動を通じて学ばせていただいたことに深く感謝し、今後の人生に反映させたいと思います。ありがとうございました。また、今後とも宜しく願いいたします。



草田美由紀

<入会年度>：2015年度

私は入会して3年半になります。入会初年度はほんとに私にできるのかな？と不安いっぱいそのまま過ぎました。2年目に突入する頃には公私ともに忙しいというのもあり辞めようかなと悩みました。でも当時の委員会メンバーとの出会いもあって、がんばってみようかなと思えるようになりました。微力ながら事業にも参加でき、ただ普通に過ごしているだけではできなかったことも経験させてもらい自分自身成長できたと思います。そして同期、先輩達との貴重な出会いにも感謝です！いろんな思いがありましたが今はJＣに入会したこと、JＣ活動ができたこと、心から良かったと思います！これからも、現役の皆様の益々のご活躍を心より祈念しております。短い期間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。



楠本 成吾

<入会年度>：2014年度

2014年度に入会して5年間、本当に楽しい日々を過ごさせていただきました。JＣを通じて、たくさんの友人ができたことは、僕にとって一生の宝物です。卒業しても仲良くしてください(笑) 沢山のメンバーの皆さんに支えられ、本当に有難うございました。



小畑 昇平

<入会年度>：2010年度

2010年度に入会して以来9年間、大変お世話になりました。思い返せば毎年大変なことも多かったですが、今となってはどれもいい思い出ばかりです。

和歌山青年会議所はじめ特別会員の皆様、残られる現役会員の皆様、事務局員の恵子さん、和中さん、関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



嶋田 知記

<入会年度>：2011年度

2011年にJＣに入会し、拡大、開発、例会委員会あたりまでは割と活発に活動していたように思います。入会2年目で和歌山ブロック協議会の幹事もさせて頂いたりと色々勉強させていただきました。4年目からは、他の団体で重役を担うことになり、あまりJＣ活動に力を注ぐことができなくなりましたが、最終年度くらいは何か事業をやりたい！と思い、まちづくり委員会に所属するも、台風のおかげで事業が開催できなくなるなど、そういう星の下に生まれたのだと思うようにしております。そんなJＣ人生でしたが、皆さま大変お世話になり、ありがとうございました。言い訳になりますが、決してサボっていた訳ではございません！



清水 啓太

<入会年度>：2015年度

2015年度に入会し、振り返ってみると早く短いJＣ生活でしたが、多くの仲間と出会い、色々な活動を経験させていただきました。何も考えずに入会しましたが、自分が一歩踏み出し、望めば多くの学びの機会があり、普通に生活していると出会うことがない人との出会いや、体験できないようなことができました。まだやれたかも知れない、もっとやれば良かったとの思いもありますが、これからはこの経験を糧に新しい生活に進んで行きたいと思います。最後になりますが先輩・現役の皆様そして同期メンバーには大変お世話になり本当にありがとうございました。



田伏 宏行

<入会年度>：2009年度

2009年に和歌山青年会議所に入会し、10年もの長い間大変お世話になりました。2012年に、例会委員会委員長として、次期阪神監督の矢野燿大氏の講演会を、皆さまのご協力により開催できたことは忘れられない思い出です。JＣ活動を通じて、たくさんの方との出会いを与えていただき、本当にありがとうございました。



辻本 章統

<入会年度>：2010年度

私は2010年に和歌山青年会議所に入会し約9年間で多くの経験をさせていただきました。和歌山ブロックに1回、近畿地区に2回、日本に1回出向させていただいたことで和歌山市だけでなく全国に友人を作ることができました。また、2017年には事務局長にさせていただいたお陰で、妻とも出会うきっかけをいただきました。「JＣは機会を与えてくれる会である」と先輩から言われてきましたが、自分から積極的に参加することで多くの仲間や経験ができました。現役の皆さんも少し大変な思いをしても、積極的に参加してJＣを楽しんでいただきたいと思います。今までお世話になった全ての皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

卒業生から一言



野嶋 利基

<入会年度>：2014年度

1月16日にダイワロイネットホテル和歌山にて卒業式例会・懇親会が開催されました。昨年度、初めて会員開発委員会が卒業式例会・懇親会を企画・運営し、私が委員長として2年目メンバーとともに開催した日のことを思い浮かべながら、1年が怒涛のごとく過ぎ去ったことに、少しの寂しさと少しの安堵を感じながら、今年度は私が卒業生として参加させていただきました。卒業式例会から懇親会までを通じ、手づくりで温かみのある内容で、楽しませていただくことができ、時間が過ぎるのを早く感じ、あっという間に過ぎ去った1日となりました。中村委員長をはじめ会員開発委員会のみなさまには、この日に至るまでの企画・準備・設営に感謝いたします。ありがとうございました。私のJＣ生活は5年間とあまり長くはありませんでしたが、水野歴代理事長には委員長も経験もさせていただき、紆余曲折はあったものの、なんとかメンバーの支えと協力のおかげで卒業に至ることができました。最後になりますが、当日ご参加いただきました諸先輩方々、また、現役メンバーのみなさま、そして、たくさんのお花や記念品をいただきましたみなさまに改めて感謝いたします。5年間ありがとうございました。



藤井 郁久

<入会年度>：2004年度

14年という歳月の中で本当に多くの方と出会い、沢山の学びを得ることができました。この経験は私自身の人生に大きく影響したことは間違いありません。JＣは真摯に向き合えば向き合うほど、大きな学びとしてきちんと成長させてくれます。今思えば卒業までは長いようで意外とあっという間でした。何でも受け止め一緒に悩んでくれる、この限られた仲間との時間を大切にチャレンジしてってください。本当に、本当に長い間お世話になりました。



古川 義高

<入会年度>：2015年度

2015年に入会させていただき、はや4年目。とうとう卒業を迎えることとなりました。私にとっての和歌山青年会議所は、『とてつもない大きな壁！？』のような存在でした。当時も他の団体に所属しておりL OMのメンバーも知っている方々でしたが、初めにそう捉えてしまったため、しんどい状況を自ら引き寄せていたのだと思いますが・・・(苦笑)。でも、いつも「めんどくさい駄目だ・・・。」というとき、誰かが天使のように手を差し伸べてくださいました。それは、同期メンバーです。年齢の先輩、後輩関係なしにフレンドリーになり自分も少し若返ったようになりました。言動は中2ですが感謝してます。そして何とか1年目を終えた頃から、このつながりを生かそうと思い始め、その頃からJＣ活動も楽しく思えるようになっていきました。野球・サッカーも入れていただき、もう少し早くやっとならば良かったと後悔してます。さて、本年度は今をときめく薩山委員長率いるまちづくり委員会に所属し、昨年度の60周年記念事業での委員としての役割を全うしていた僕を委員にいただき、やる気満々になってました。しかし今年の事業、城下町マラソンをする予定でしたが、台風で無念の中止…。延期もできずと今までにないやり切った感もなく卒業を迎えてしまいました。しかしながら、こんな悔しい経験をできるのもJＣです。さまざまな経験を共にできるメンバーがいて思いを共有できる。お金では買えない友情とつながりを手に入れることができ本当にJＣに入って良かったと思います。短いJＣ生活でしたが、気に掛けていただきました先輩方、そして多くのメンバーの皆さん、本当にありがとうございました！



松田 玄

<入会年度>：2014年度

入会したばかりの頃から、メンバーの皆様には仕事を理由にと、なかなか参加することができずに迷惑ばかりかけてきました。それでも皆さんに暖かく接していただき感謝しています。普段はお酒を飲んでワイワイしている印象が強い皆さんですが、事業に参加している真剣な姿はとても魅力的で少しでも力になればと思っていました。卒業式は本当に楽しい時間で、もっとたくさん事業に参加できていたらと、後悔する気持ちもあります。短い時間でしたが、皆様本当にありがとうございました。



森下 泰寛

<入会年度>：2009年度

2009年に入会して以来、多くの方にお世話になりました。また、様々な役職を受けさせていただき、多くの成長の機会をいただくことができました。JＣで学んだことを今後は社業を含め、様々な場面で活かしていくとともに、支えていただいた皆様に恩返しができるようこれから努めていきたいと思います。本当にありがとうございました！



山本 忠相

<入会年度>：2008年度

本来は卒業式に出席して、皆様に御礼と想いをお伝えするつもりで、お話しすることも考えていたのですが、私が主催者側となる公務と重なり、叶いませんでした。申し訳ありません。皆様にお祝いいただきましたこと、心から感謝申し上げます。10年半お世話になりました。残念ながら、その全てを記憶しているわけではありませんが、色々なことがありました。書き始めると紙面を覆いつくすので止めますが。私は青年“経済人”ではありません。なので、いつもJＣを斜に構えて見ていました。JＣの空気を读まないことは数知れず。でも違う視点があるということも知ってもらいたかったのです。賛否はあるでしょうが、それを言うこともまた、自分にとっての修練だと考えていました。私が総会で「なし」と言い続けたのは、打てば響くべきだと思ったから。聞かれたら「はい」でも「いいえ」でも、反応を返すべきだと。一つの小さなことが、何か変化のきっかけになれば、と思っていました。皆さんがJＣ生活で悔いを残さぬよう活躍され、幸多からんことを願います。

お疲れ様らん



2019年度 役員紹介



理事長
山路 由剛



直前理事長
森下 泰寛



監事
堀井 卓



監事
松下 正典



顧問
水野 孝彦



副理事長
井川 惇



副理事長
川瀬 康喜



副理事長
咲間 計太



副理事長
成瀬 允陽



専務理事
西村 和将



室長
奥川 麻衣



室長
佐武 真介



室長
辻川 大器



室長
森口 慎子



理事
石原 詢二



理事
伊藤 正至



理事
片山 朋樹



理事
小谷 亮太



理事
島村 奈菜



理事
瀧本 拓起



理事
田代 紘規



理事
田邊 武



理事
玉置 清正



理事
辻本 智子



理事
出口 清崇



理事
永井 宏一郎



理事
中村 大吾



理事
西畑 元博



理事
橋野 史



理事
本田 博則



理事
松田 紗世



理事
山田 正巳



理事
和田 篤樹

1 月度告知

新春交歓会

2019年1月15日(火) 19時から ホテルグランヴィア和歌山 6F ル・グラン
新春交歓会を開催し、来賓をはじめ関係諸団体、特別会員の皆様方を多数お招きし、
2019年度の門出を祝し喜びを分かち合います。当日は理事長の想いととも、各
委員長の事業計画とその想いを発表していただきます。和歌山青年会議所の新年度最
初の事業であり、地域から信頼される団体であり続けるための第一歩となりますので、
皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

(地区大会準備委員会 委員長 田邊武)

京都会議LOMナイト

2019年1月19日(土) 19時から 京料理・鍋料理 鳥久

昨年から趣向を変え、京都円山公園近くの京料理・鍋料理鳥久にて京都会議LOMナ
イトを開催いたします。各協議会へ出向される会員を激励するとともに、会員同士の
交流をさらに深めていただくために、京都の風情ある景色を眺めながら、美味しい料
理とレクリエーションを楽しみましょう。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちいた
しております。

(地区大会準備委員会 委員長 田邊武)

拡大セミナー～拡大なくして未来はない～

2019年1月22日(火) 19時から 北コミュニティセンター

和歌山青年会議所1月度例会を拡大セミナーとして開催します。会員拡大委員会
委員長の講演を行った上で、参加者にはグループワークを行っていただきます。会員拡大
を全員の運動にすべく、今一度和歌山青年会議所運動について皆様で考え、拡大運動
を再認識し、2019年度の拡大運動を全員で大成功に導きましょう!!是非ともご
参加のほど、よろしくお願いします。

(会員拡大委員会 委員長 玉置清正)

1 月 スケジュール

		年始祈願	日前宮
4	金	年始挨拶	市役所、商工会議所
		第1回三役会	一橋庵
6	日	はたちのつどい	県民文化会館
		第1回財政規則審査会議	事務局
7	月	和歌山市スポーツ賞に 係る意見聴取会	市役所
9	水	第2回三役会	株式会社ナルセ
12	土	理事会	商工会議所
15	火	新春交歓会	ホテルグランヴィア
17	木	京都会議	国立京都国際会館
18	金	京都会議	国立京都国際会館
19	土	京都会議LOMナイト	国立京都国際会館 京料理・鍋料理鳥久
20	日	京都会議	国立京都国際会館
21	月	那賀JC新年祝賀会	岩出
22	火	例会(拡大セミナー)	北コミュニティセンター
24	木	第2回財政規則審査会議	事務局
26	土	第3回三役会	事務局
27	日	第1回委員会協議会議	有田
		委員長会議	商工会議所
28	月	近畿地区正副会長会議	葛城
29	火	近畿地区役員会議	葛城

わとらんが行く！和歌山市が誇る企業の現場 「菱岡工業」編

取材協力：菱岡工業株式会社 代表取締役 岡田亜紀 様(和歌山市中島528)

1 事業の概要

当社は、業務用エアコンや業務用冷凍機などの製造を主に手がけており、中でも制御機器や電気機器のハーネスの加工、板金加工、さらに組立まで担える幅広い技術力が強みです。同業他社と比較しても、製品を一貫生産できるところは多くないと自負しています。

2 「打っ手は無限」

約20年前、先代社長である父が突然他界しました。私は当時幼稚園の教諭をしており、当社の事業にはまったく関わっていませんでしたが、後を継ぐ者が他におらず、私がなんとかしていくしかない状況でした。将来を不安視する数多くの従業員に取り囲まれ、問い質され、右も左もまったく分かりませんでしたが、とにかく「なんとかします!」と言うしかありませんでした。小娘のような私に愛想を尽かして毎日のように誰かが辞めていく、そんな中でも私に付いてきてくれた従業員たちがいました。どうしたら父から受け継いだ事業を守り、従業員たちの生活を支えていくことができるのか、自問自答を繰り返し、失敗することもありましたが、そうした従業員の存在が原動力となって事業を続けることができました。

何も分からない自分が失敗するのは当たり前。失敗しても他にやれることはいくらでもある。諦めずに自分にできることをやり通せば実現できないことはない。そんな考えから当社の社是として「打っ手は無限」～決して諦めなければ

実現できないことはない～

を掲げています。

3 障がい者雇用について

保育士の資格を取るために、障がいのある児童を受け入れている施設で実習していたことがあります。施設を訪れた私を迎えてく



れたのは中学生男子からの突然の平手打ちでした。彼には悪意があったのではなく、彼なりの歓迎の挨拶だったのです。人とのコミュニケーションの方法が分からないだけで、長所もあったのですが、彼のような存在はなかなか社会に受け入れられないのが現実です。実習先の施設では休みになっても迎えに来てくれる家族がいなかったり、入所中に亡くなる子もいました。こうした経験から、彼らが幸せに暮らしていけるお手伝いをしたい、という気持ちを抱くようになりました。

父から事業を引き継いだ後もこのような気持ちを持ってはいましたが、事業のことで精一杯という日々を送っていました。そんな折、JCの例会で支援学校の先生とお会いする機会があり、生徒達の実習先を探しているとのことでしたので、受け入れることにしたのです。障がいのある方は不器用なところもありますが、自分の得意な分野を見つけるとその作業に没頭して本当に集中して働いてくれるのです。今では当社の戦力としてなくてはならない存在になってくれた方もたくさんおられます。従業員同士でも互いに理解が深まり、会社組織としても大いにプラスになっています。

4 現役会員へのメッセージ

JCには「毎月講演を聴くことができ勉強になるのなら」という軽い気持ちで入会しました。当初、活動はほどほどにしておこうと思っていたのですが、委員長を務めたり、出向したりと活動の幅を広げていくと、様々な分野の方と知り合うことができました。先に述べた方との出会いも当社の事業発展の一助となっています。現役当時、事業をよりよいものにしようと思って意欲的に行動していたら、当時のメンバーからは「暴走機関車」、「テポドン」などのニックネームを頂戴し(笑)、苦情を言われることもありました。ですが、かえって結束が強くなり、今となっては忘れることのできない、いい思い出になっています。

現役会員の皆様もいろんなことに挑戦し、多くの経験を積んでいただければと思います。せっかくJCに入ったのですから!



編集・発行

一般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西汀丁36番地(和歌山商工会議所5F)
TEL.073-428-3334(代) FAX.073-431-1693
URL: <http://www.wakayama-jc.net>
mail: office@wakayama-jc.net



Junior Chamber International Wakayama